



エコ インフォメーション

仙台市からのお知らせ



1 仙台市オリジナルの雑がみ回収ロゴマークをご活用ください



仙台市の家庭ごみの約3割がリサイクルできる紙類で、このうちの半分以上が紙箱や包装紙、チラシなどの「雑がみ」です。市ではこの雑がみのリサイクルを進めるため、不要になった紙袋等にまとめて出していただくよう皆様をお願いしています。さらに、市オリジナルの雑がみ回収ロゴマークを作成し、買い物袋等に紙袋を使用している事業者の皆様採用をお願いしています。自社の紙袋にロゴマークを採用して環境配慮のアピールに役立ててみませんか。詳しくはワケルネットをご覧ください。



平成29年3月にロゴマークを採用いただいた「仙台市太白区の天然酵母パンのお店 オフニル デュ ポワ」の紙袋

ロゴマーク採用事業者の皆様(五十音順)
お茶の井ヶ田 株式会社 様 株式会社 玉澤総本店 様
株式会社 パラマウント 様 株式会社 藤崎 様
仙台市ガス局 (ロゴマークはいずれも紙袋底面に記載)

ワケルネット 雑がみ回収ロゴマーク 検索

2 ごみ分別アプリ「さんあ〜る」のお知らせ

仙台市では、家庭ごみ収集日のお知らせや、ごみ分別検索機能などを備えたスマホアプリ「さんあ〜る」を運用しています。平成28年10月にプロスポーツ3球団が同時に環境配慮型事業所認定を受けたことで、3チームのマスコットキャラクターをアプリホーム画面で表示しています。ぜひご活用ください。



プロスポーツ3球団のロゴ入りエコバッグを抽選でプレゼント



選手のサイン入り! 「さんあ〜る」をダウンロードいただいた方の中から、選手のサイン入りエコバッグを抽選で15名の方にプレゼント。詳しくはワケルネットの「エコにごショップ・オフィス「エコバッグプレゼント企画」」をご覧ください。抽選は平成29年5月中旬の予定で、当選者にはエコバッグ発送をもってお知らせします。

各ストアより「さんあ〜る」で検索 または こちらからもダウンロードできます。



iPhone用



Android用

3 オフィスや店舗から出る古紙は事業系紙類回収拠点へ無料で持ち込みできます

事業系紙類は、これまででも各区環境事業所(太白を除く4事業所)にある紙類回収庫に無料で持ち込むことができましたが、平成29年3月から市内の古紙問屋など民間事業者の協力で、新たに17カ所の事業系紙類回収ステーションにも持ち込みできるようになりました。紙類分別により、事業ごみの減量・リサイクルが進み、事業者の皆様のごみ処理費用の削減につながります。ぜひご活用ください。詳しくは市ホームページまたはワケルネットをご覧ください。

事業系紙類回収ステーション 仙台市登録事業所

これが目印です



回収ステーションが設置される古紙問屋

仙台市 事業系紙類回収ステーション 検索

4 事業活動のなかでごみ減量・リサイクルなどに取り組む店舗・事業所を募集中

仙台市では、事業活動のなかでごみ減量・リサイクルなどに取り組む店舗・事業所を「環境配慮型店舗・事業所」として認定し、積極的に応援しています。申請は無料。ごみ減量など10の審査項目のうち4項目以上の活動を行っている場合に認定され、仙台市の各種広報で紹介させていただきます。また、認定証授与式の開催や、優れた環境配慮の取り組みを本事例集で紹介するなど、事業者の皆様の環境配慮活動の推進に役立つよう情報発信をしています。ぜひご申請ください。



平成28年10月に開催した認定証授与式の様子

発行 仙台市環境配慮型店舗・事業所認定委員会 (事務局 仙台市環境局廃棄物企画課)

〒980-0802 仙台市青葉区二日町6-12 MSビル二日町3階

TEL 022-214-8230 FAX 022-214-8840 E-MAIL: ekoniko-jimukyoku@city.sendai.jp

認定制度の概要や、これまで紹介した認定事業者の環境配慮活動の取り組みなどは、ワケルネット 検索 仙台市ごみ減量・リサイクル情報総合サイト「ワケルネット」に掲載しています。



仙台市「エコにごショップ・オフィス」3R事例集 VOL.7

環境に配慮しながら 事業推進する 事業者を紹介します

仙台市では、ごみ減量・リサイクル推進など環境に配慮しながら事業活動を行っている事業者を「エコにごショップ・オフィス」として認定し応援しています。今回の3R事例集では、28年度認定事業者の取り組み事例を紹介します。

事例1 株式会社 楽天野球団 東北楽天ゴールデンイーグルス

選手も「エコ」を心掛けています!

プロ野球の試合がある日は、スタジアムで多くのごみが出されます。東北楽天ゴールデンイーグルスでは、ファンの皆さんが楽しくエコ活動できるよう、エコステーションをはじめいろいろ工夫しています。例えば、試合中に飛ばしたジェット風船を集めてステッカーと交換できるようにしたことで、子供たちが競って使用済みジェット風船を集めてくれるようになりました。



スタジアムのエコステーションでのボランティアの皆さん
ジェット風船を飛ばしている様子



左から 楽天野球団の太田さん、選手食堂スタッフの坂元さん、新たに導入した生ごみ処理機ニイヌマ株式会社の新沼さん、楽天野球団の横山さん

今回は、選手食堂に新たに導入した生ごみ処理機による取り組みを紹介します。「2016シーズンからニイヌマ株式会社様の生ごみ処理機を導入し、1日15~20kgを処理することでごみの量が大幅に減りました。処理機を使うためには、食べ残しなど処理できるものと、使用済み割りばし等の処理できないものを分別するのですが、楽天イーグルスでは、以前から選手が下膳の際にきちんと分別しており、処理機もスムーズに導入できました」 「また、毎シーズン、球団として宮城県内の森林で植樹活動を行っています。こうした環境保全活動を今後もチーム一丸となって続けていきたいと考えています」(楽天野球団 地域連携・CSRグループ 太田さん)



楽天野球団の太田さん

事例2 株式会社 ベガルタ仙台

スタジアムでの古紙・古着回収を開始!



スタジアムのエコステーション設置の様子



左から ボランティアクラブの植竹さん、株式会社高良の根子さん、MELONの菅田さん、菅原さん、ボランティアクラブの太田さん

ベガルタ仙台では、2004年からボランティアの方々によるごみ分別回収に、チーム、サポーター、環境団体が連携して取り組んできました。「エコステーション運営ノウハウは、(公財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)さんと一緒に積み重ねてきました。Jリーグの中には、ボランティアクラブがないチームもあって、スタジアムでのリサイクルの取り組みについて、現在では他チームからお問い合わせいただくこともあります。エコステーションでの分別はかなり浸透しており、あらかじめごみの種類を分けてお持ちいただく方が多いです。『お疲れ様』『また観に来るよ』という一言が嬉しいですね」(ベガルタ仙台ボランティアクラブ代表 植竹さん)

「2015シーズンから、試合会場での古紙・古着回収を株式会社高良さんと連携して始めました。高良さんに収集した古紙等を買っていただくことで、チーム強化の資金にも役立てられます。古紙や古着がリサイクル資源であることをアピールしていきたいです」(ベガルタ仙台 総務部 白河さん)



試合会場での資源回収の様子(左から 株式会社高良の根子さん、渡辺さん)



左から ベガルタ仙台の丹野さん、白河さん

「事務所でも取り組みを進めています。元ベガルタ選手が高良さんで働いており、環境配慮に関する提案をいただくこともあります。スタジアムでのエコ活動だけでなく、これからも選手・スタッフが力を合わせて取り組みを進めていきます」(ベガルタ仙台 営業部 丹野さん)

事例3 株式会社 仙台89ERS

チーム一丸となってリサイクル!!

2016年からB.LEAGUEに加盟した仙台89ERS。試合会場ではエコステーションを設置し、ボランティアスタッフの方々の協力でごみの分別回収に取り組んでいます。

89ERSプースターの皆さんはもちろん、仙台を訪れた他チームのプースターの方も、エコステーションでの分別に協力的とのこと。「分別したごみはそれぞれ適切に処理します。特に会場内での使用済割りばしは、エコステーションで分別回収した後、洗ってま

リサイクルプラザに届けられた割りばしは、日本製紙株式会社岩沼工場に運ばれ、新聞用紙の原料としてリサイクルされます。

「今シーズンからカメイアリーナの食堂が89ERS直営となり、ホームゲームでの飲食をさらに楽しんでいただけたと思います。ごみ減量とリサイクルに取り組みながら、多くの方に試合を楽しんでいただけるよう、選手とスタッフが一丸となって頑張っています」(川村さん)

仙台89ERSの川村さん



平成28年6月には柳川選手が葛岡リサイクルプラザに割りばしを届けてくれました



エコステーション設置の様子

エコステーション設置の様子



※今回紹介している3球団のエコステーションでは、いずれもMELONが運営協力を行っています。

事例4 守屋木材 株式会社 (守屋木材グループ)

貴重な木材資源の持続的活用に向けて

「当社は創業当時、製紙工場へパルプ原料を供給していましたが、現在では木製家具製造、建築内装工事、建築資材販売などさまざまな事業を行っています。『木材』が出発点なので、森林保全など環境配慮には、同一事務所で勤務する守屋木材グループの3社(守屋木材株式会社、株式会社奥羽木工所、守屋電気株式会社)の社員全員で取り組んでいます」(守屋木材 総務部 青田さん)



社員総出で毎年植樹を実施

「環境配慮の取り組みでは、恒例行事として毎年県内の社有林に社員総出で植樹しています。新たに青葉通に植栽されたケヤキの一部は、この社有林で育てて仙台市に寄贈させていただいたものです。」

事例5 キヤノンマーケティングジャパン 株式会社 仙台支店

オフィス見学ツアーをぜひ活用ください

キヤノンマーケティングジャパン仙台支店では、オフィスでの環境配慮の取り組みと、業務効率・生産性を高めることの両立に取り組んでいます。「社員の席には個別のごみ箱を置かず、オフィス内に資源物の分別ステーションを3カ所設けて持ち込むようにしています。リサイクルできないものは、ビル共用部にあるごみ置き場に社員が直接持っていくため、オフィス内に『ごみ箱』はありません。分別徹底はもちろん、排出抑制も重要です。紙類は、プリンターの基本設定を両面印刷や2in1印刷(2ページ分を1ページに集約印刷)を基本とし、さらに印刷の際には、直接プリンターまで行って社員IDカードをかざ



オフィス内の分別ステーション

さないといけない設定となっています。印刷前に出力データを取捨選択できるので、不要な印刷をなくすことができ、またプリント用紙の取り忘れもなくなります。こうした取り組みにより、社内でごみを出すこと自体が非常に少なく、業務効率向上につながっています」(総務課 中村さん)

「また、当社では5S(※整理・整頓・清掃・清潔・しつけの頭文字のSをとったもの)活動にも取り組んでいます。日頃からお客様に私たちの職場を実際に見ていただく『オフィスツアー』を開催しており、執務環境が常に見られている前提で社員は仕事していますので、5Sの意識付けにも役立っています。こうした取り組みは、業務効率や生産性の向上にも効果的です。ぜひ一度、当社のオフィスツアーに参加いただき、実際に取り組みをご覧いただきたいです」(総務課 窪谷さん)



プリンターで出力データを選択



左から 総務課の中村さん 窪谷さん

事例6 太白カントリークラブ

豊かな秋保の環境保全に取り組んでいます

豊かな自然環境に囲まれたゴルフ場を運営する太白カントリークラブでは、環境配慮活動に社員一同で取り組んでいます。

古くなったタオルは洗ってクラブ拭きなどに再利用



「当社のクラブハウスには浴場があり、毎日大量のタオルを使用します。その中でお客様用に使用できなくなったタオルは、洗ってゴルフクラブ拭きやバックヤードでのぞうきんなどとして、最後まで繰り返し使用しています。もちろん紙類をはじめとする資源物は

また、近年は、事務所敷地の空スペースで野菜を栽培し、事務所の日除けとして活用している他、社員に格安で販売し、その売上げを東日本大震災で被災した防風林再生のために寄付しています」(青田さん)

「5年前に事務所を改築して、事務室では社員の机ごとに照明の入り切りができるようにし、不在の社員の席ごとに照明を消しています。他にも、当社では建築廃材を有効活用するためペレット化して販売したり、事務所にペレットストーブを導入して使用するなど、資源の有効活用にグループをあげて取り組んでいます」(奥羽木工所 総務部 佐藤さん)

販売しているペレットはサンプルとして事務所で配布



左から 守屋木材の青田さん、奥羽木工所の佐藤さん、大場さん

すべて分別し、ごみをできる限り減らすようにしています。また、ごみ袋をストックしている所には、ごみ袋1枚の料金を明示し、従業員に1枚1枚大切に使用するよう呼びかけています。使えるものは最後まで活用し、資源物分別の徹底と合わせてごみを減らし、ごみ袋の使用も最小限としています。こうした取り組み以外にも、当社では秋保の豊かな自然環境を保全するとともに、お客様にその魅力を感じてもらえるよう、新しい取り組みを検討中

です。昨年からは、敷地内の雑草を食べてもらうためヤギの飼育を始めました。今後はお客様が動物と触れ合えるような環境を整備して、自然と調和した里山環境を体感いただけるようにしていけたらと考えています」(ハウスキーピング課 渡部さん)



飼育しているヤギに餌を食わせるハウスキーピング課 渡部さん

です。昨年からは、敷地内の雑草を食べてもらうためヤギの飼育を始めました。今後はお客様が動物と触れ合えるような環境を整備して、自然と調和した里山環境を体感いただけるようにしていけたらと考えています」(ハウスキーピング課 渡部さん)